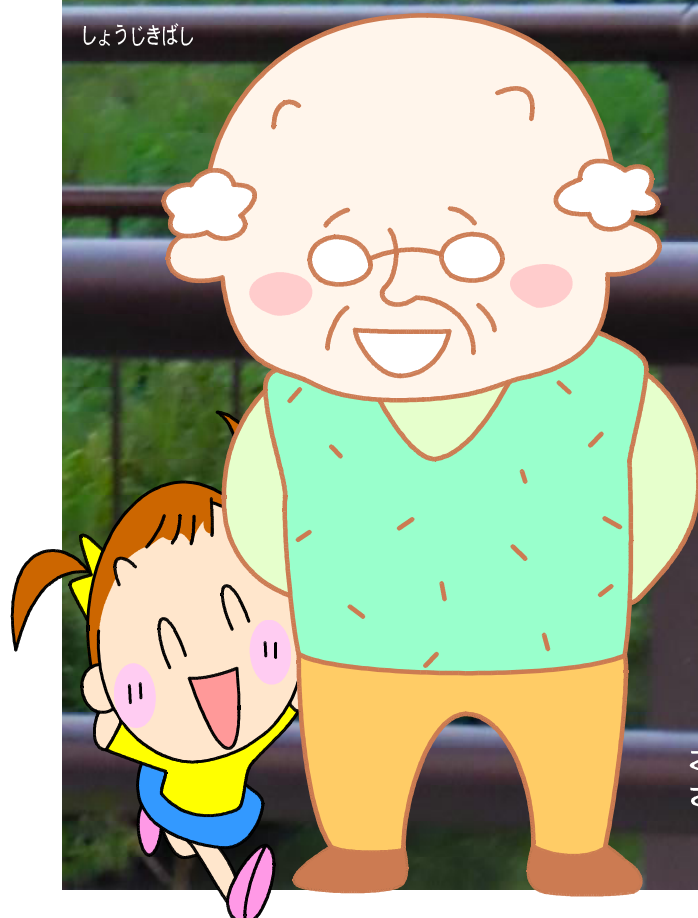


うしくでびっくり!

NO45

奥原行政区

しょうじきばし



おくばらむよりせくのまき

おくの地区社協
さく いいだあきお

おのがわ

なっちゃんとおかあさんが、**おくばらのさくらなみき**をさんぽしていると、なっちゃんが、

「わー、きれい！このちくは、なんというちくなの？」

「**おくばら**というちくなんだよ」

「**おくばら**って、どんなちくなの？」

「ん～わからないわ。しらべてごらん・・・」

なっちゃんのひとみが、きらつ。



なっちゃん、おじいちゃんに きいてみることにした。ものをよく知っている おじいちゃんが、だーいすき。

あれあれ、これはおもしろそうと、なぜなぜくんが、もりからあそびにきたよ。どこかな？

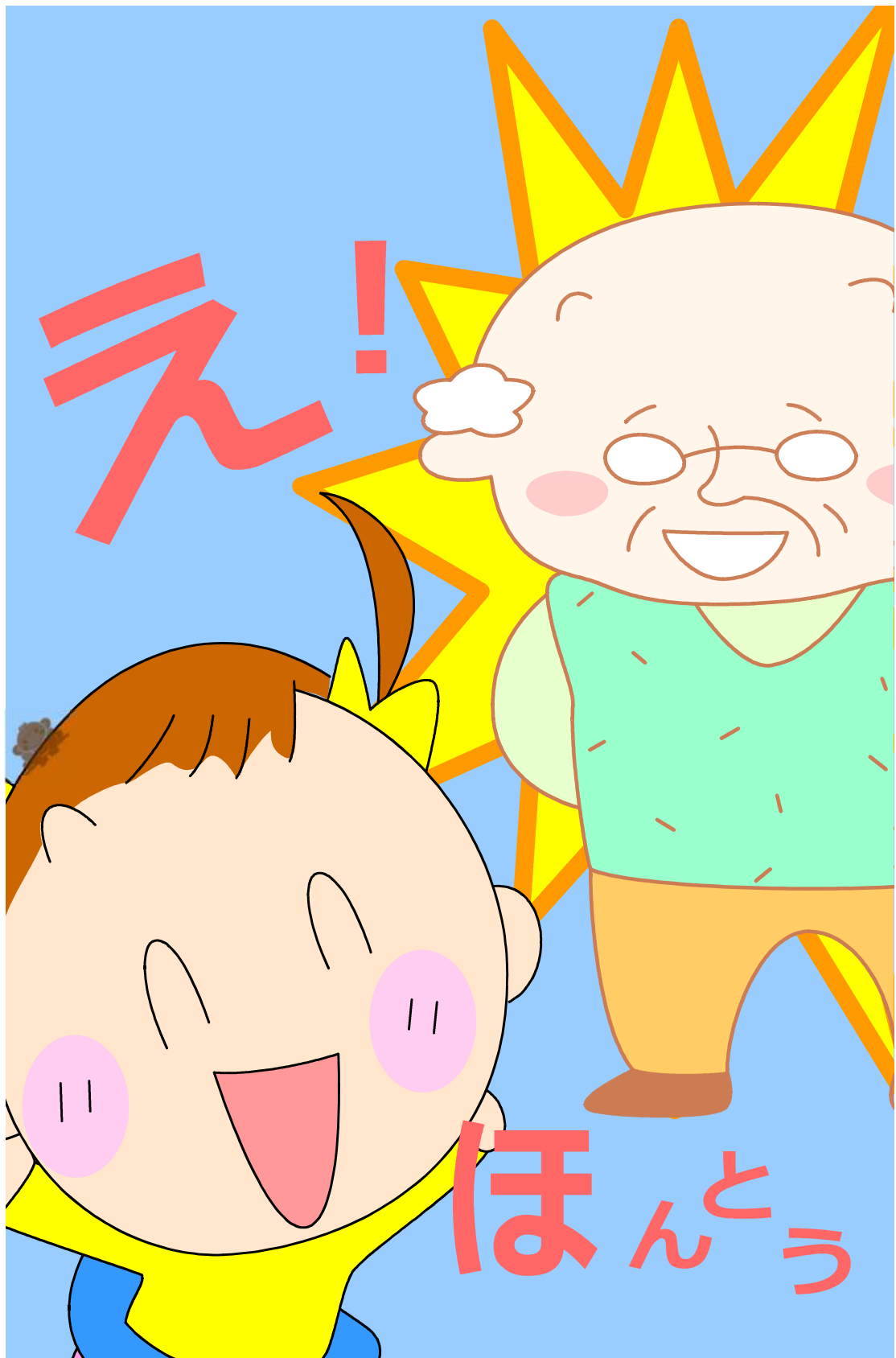


わたしは、なぜなぜで一す。



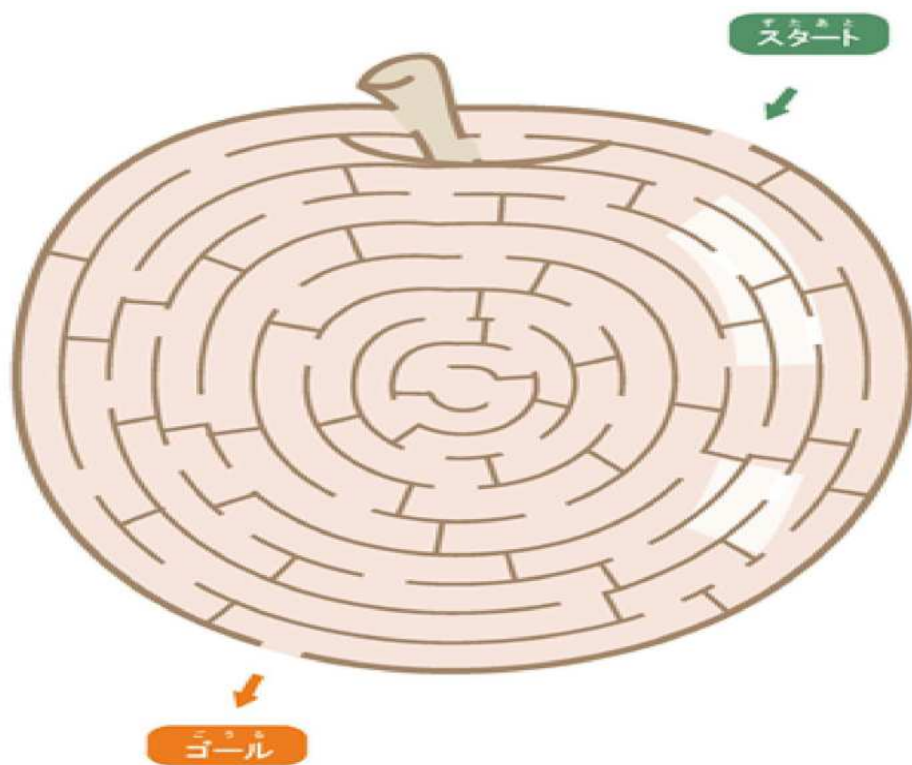
「んー、**おくばら**といえ、い
ろいろあるけどうばが み い せ き姥神遺跡とが い め い じ願名寺
と**さくら**と**ぼくじょう**かな？

くわしいことは、**あきおさん**
にきいてみるか」



つぎのひ、おじいちゃんといっしょに あきおさんのおうちにむかった。

あきおさんのおうちにいけるかな？



あきおさんのおうち

© 幼児の学習素材館 <http://kotoba.littlestar.jp/kisetsu-sozai.html>

おうちにつくと、さっそくなっちゃん、あきおさんにきいてみた。



あきおさん、にっこりわらって、こたえてくれた。

では、おくばらぎょうせいく（おくばらちよう
奥原町）のばしょをみてみよう。したのずの○のばしょだよ。

わかるかな？



おくばらぎょうせいく

(奥原村)

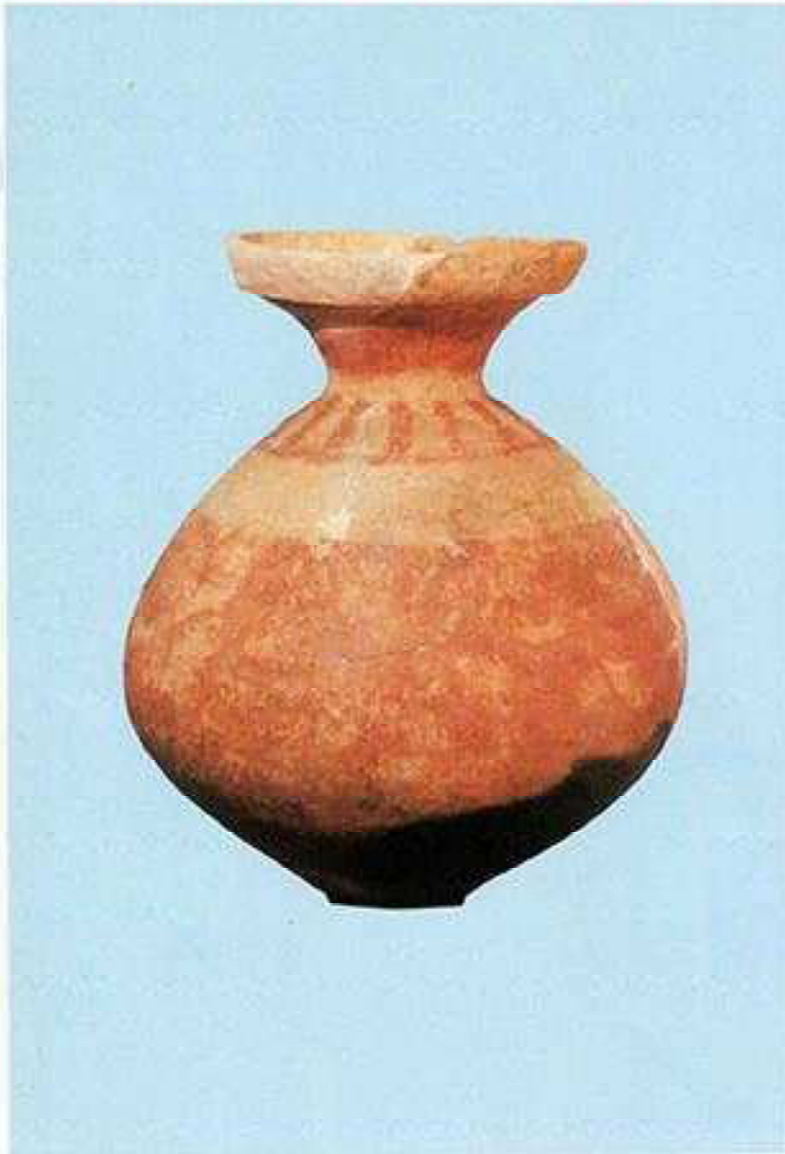
(ちず56ばん)

このちくめいは、1603
ねんけんちちょう(検地帳)に
ひたちのくにえどさきりょうないないおくばらむら
「常陸国江戸崎領内奥原村
おなわうちみずちよう
御縄打水帳」ととうじょう。
とくに、うばがみいせきが、
ゆうめい。156けんのたて
あなしきじゅうきよあとが、
みつかったんだ。

そのほかつぼがたのどき・
かいゆうほうじゅけん(つづり)
もみつかったんだ。では、く
わしくみていこうね。

「じゃー、まずは、うばがみ
いせきのはなしをしようね」

うばがみいせきといえは、



純神遺跡出土土器・壺（古墳時代）

このつ

ぼ。な

んだか

わかる

かな？

そとがわ

がベンガ

ラ（あか

いこな）

でぬられ、

そこにあ

ながあけ

られているつぼだ。

どうし

てあなが

あいているの？

「そこにあながあいていたら、
みずがこぼれちゃうよ」

そうなんだよ。だから、そ
れは、おはかにそなえたもの
とかんがえられているんだ
よ。

「そうか」



しかし、このあたりでは、
こんなつぼは、つくられてい
ないんだ。

びっくり!

「じゃー、なぜ、ここにあるの？」

ん～いいことにきがついたね。
こうした**つぼがたのどき**は、**みなみかんとう**（とうきょう・ちば・さいたま・かながわ）で、たくさんみつかつて
いるんだよ。

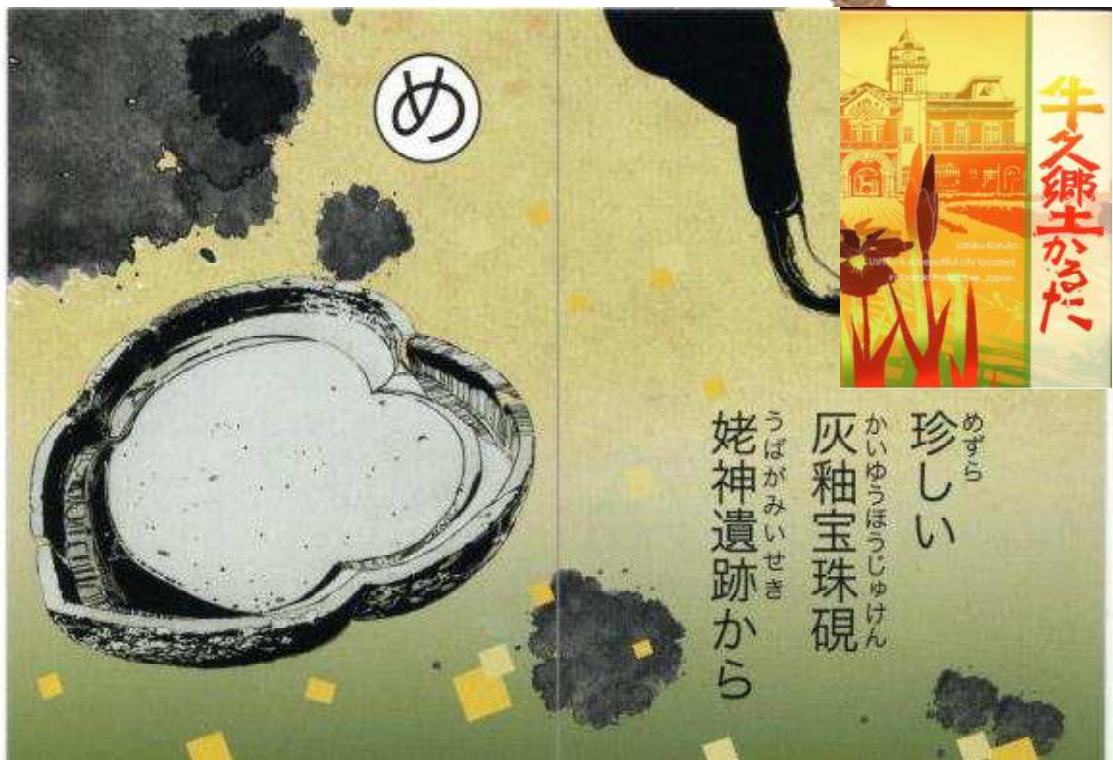
だから、このおはかの**ぬし**は、
みなみかんとうからうつりすん
だひとだといわれているんだ。

それだけじ
ゃないんだよ。
このいせきか
ら**ほうじゅけ**
ん（宝珠硯：市指定文



化財：愛知県の猿投窯でつくられた硯（すずり）が、はっけんされたんだ。

うしくきょうど（郷土）カルタに こんなカードがあるんだよ。



さらに、おおくのぼくしょどき（墨書土器）が、はっけんされている

んだ。どきにもじをかいたもの、
それらが、これだ！



(199) 姥神地区 各遺構出土墨書土器

なんって、かいてあるの？



図5-5 ヤツノ上遺跡 (1~3)・姥神遺跡 (4・5) 出土墨書土器
(茨城県教育財団「ヤツノ上遺跡」より転載)

と かいてあるんだよ。

どうして、こんなものが、

あったのかな？ それはね。

こだいとうかいどう

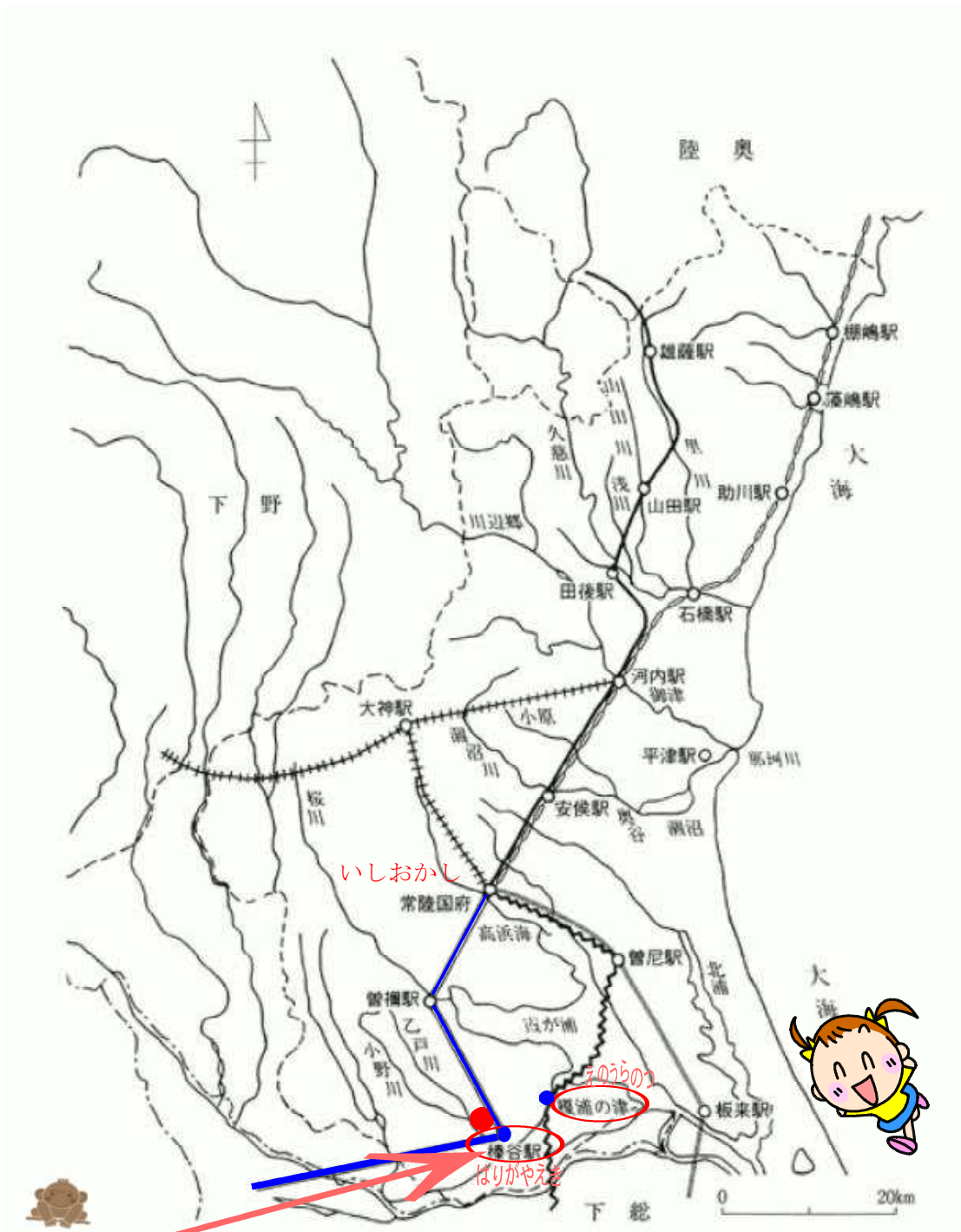
(古代東海道)

や

しだぐんが

しだぐんが
(信太郡衙：いまのやくばのようなしせつ
しもきみやま
が、下君山にあったんだ)

との かかわりが、あったら
いいんだ。つぎのずをみてね。



このあたり（下君山）に
 しだぐんががあったようだ

古代常陸の交通路

出典：地方史研究協議会編『地方史事典』1997年

りくのルート みずのルート

● おくばら（奥原） ↓ と ↓ こだいとうかいどう（古代東海道）



こだい
とうかい
どう (古代東
海道は、官道。官道
とは、平安京と
常陸国府をむすぶ
国によってつくら
れたいまでいえ
ば、こうそくどう
ろ。はば12めー
とるもあったそう
だ。) つて、
どこにつ
づくの？

こだい ごしちどう ず こくどうつうしやうよこはまこくどうじむしよ
古代の五畿七道の図 (国土交通省 横浜国道事務所ホームページより)

こたえは・・・

へい あん きょう (みやこ)

平安京



みやこに

つながっていたんだ。

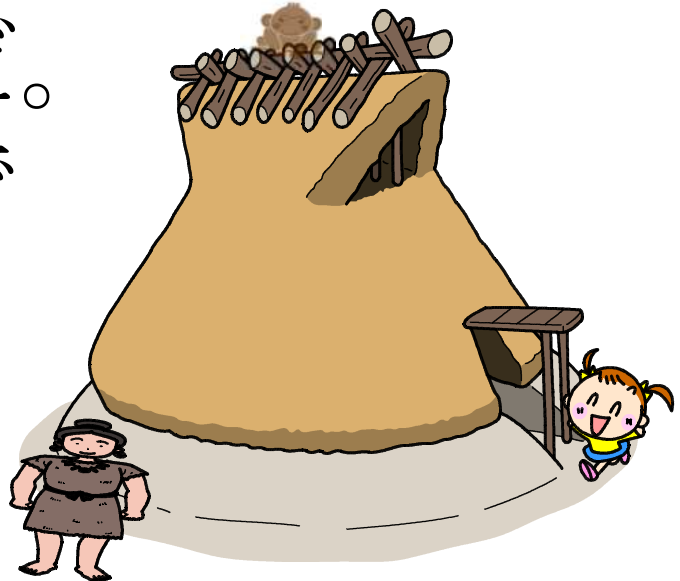
びっくり!

だからか!

さらに、おくばらには、^{や よ}弥
^{い じ だ い}生時代から^{こ ふ ん}古墳・^{あ す か}飛鳥・
^{な ら}奈良・^{へ い あ ん}平安までつづく、
^{し ゅ う ら く}しゅうらく

(集落：たてあなしきじゅう
きよが、156けん)

が、みつかつ
ているんだ。
まえにもで
てきた、^う
^{ば が み い}ばがみい
^{せ き}せきだ。



うばがみいせきは、ここだ！



このほかにも**おくばら**には、たくさんのいせきがみつ
かっているんだ。**おくばらい**
せきというんだよ。**うばがみ**
いせきもそのひとつなんだ。

さらにすんでいるひとにきいて、



びっくり!

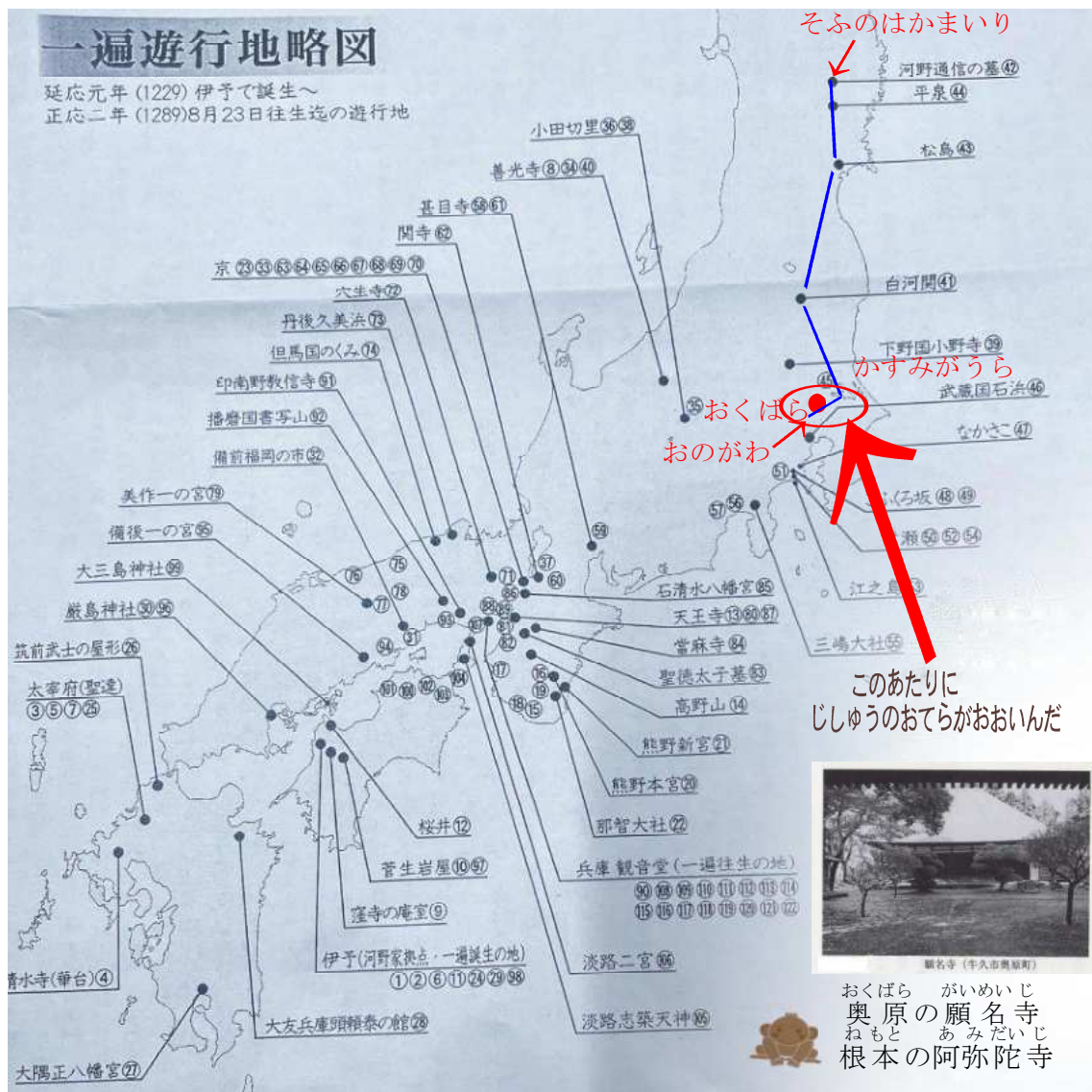
ほとんどのいえが、
時宗^{じ しゅう}なんだ。

※しらべてみると、うしくし^{じ しゅう}で時宗^{じ しゅう}なのは、ここにあら願名寺^{がんめい じ}だけなんだ。

時宗^{じ しゅう}って、なーに？

なんでも鎌倉時代^{かまくら じ だい}、一遍^{いつ ぺん}さんが、おくばらにきて時宗^{じ しゅう}をひろめたんだ。一遍^{いつ ぺん}さんといえは、きょうかしよにものっているゆうめいなひと・
・。

いっぺん 一遍さんは、ぜんこくを遊行
 し、ねんぶつふだをくばり、
 じしゅう 時宗（おどりねんぶつ）をひろめた
 んだ。これが、ぼんおどりのルーツになっているらしいよ。



— は、一遍さんがとおったとおもわれる **みち**。

その一遍^{いっぺん}さん、1280ねんとうほくちほう^{ひたちのかくに}からのかえりみち、常陸国にはいって、おくばら^{おくばら}にたちよって、おしえをひろめはじめたんだ。



どのみちをとおつておくばらにきたの？



ん～どうやら、旧東海道^{きゅうとうかいどう}をとおつてきたらしいんだ。

常陸国風土記^{ひたちのくにふどき}によると「榎浦^{えの}の津^{うら}（みなと）が霞ヶ浦^{かすみ}の西部^{がうら}にあつて、そこには、駅家^{せいのぶ}（うまをよういしていた）もあつた。そして、おのがわぞい^{しもきみやま}に下君山あたりのしだぐん^{しだぐん}がをとおつてきたらしいんだ？！

はなしをもどして、一遍^{いっぺん}さんがきたとき、**しんじるひと**が、あつまって、願名^{がんめい}寺をたて、**ぶつぞう**^{ねもとあみだ}をあんち。さらに、根本の阿弥陀寺をたてたといわれている。

でもね、ほんとうは一遍^{いっぺん}さんは、てらをひとつもたててないんだ。

のちに**しんじるひと**たちが、おてらをつくったらしいんだ。

びっく^{!!}り!

そのぶつぞうが、これだ。県
あ み だ に よ ら い ざ ぞ う
してい阿弥陀如来座像。



そし
て、1727
ねん 4
がつ 19
にちに
は、だ
い 50 だ
い遊行
しょう にん
上人
かいぞん
快存が、
てらを
おとづ
れたん
だ。

これは、とてもめずらしい
ことなんだよ。

びっくり!
すごーい



しゅうもののトップが
きたんだ。

なぜ、
こんなことが？



一遍上人立像
(神奈川県・無量光寺蔵)

それはね

やっぱり



こだいとうかいどうや

(古代東海道)

しだぐんが

(信太郡衙：いま

のやくばのようなしせつが、しもきみやまにあった)

が、あったこと。

さらに鎌倉時代おくばら

は、信太庄とよばれ、執権北
条氏のりょうちになっていた
んだ。だから北条氏いちぞく
や鎌倉、さらには、京都とも
ふかいつながりをもつことが
できたからだとおもうよ。

そうだったのか。

びっくり！



さらに、願
 名寺にある半
 鐘(かね)は、関
 宿藩領奥原
 村大庄屋富山
 小兵衛らが、
 せんぞのくよ
 うとしておて
 らにきふした
 ものだ。



常陸国信太郡奥原邑
 願名寺廿四世覺庵梵阿玄隆和
 尚代
 富山小兵衛
 同 浅之丞
 為先祖代々
 文化五年辰吉祥

願名寺の半鐘の銘

びっくり!

さいきん、筑波南工業団地
ないの^{つくばみなみこうぎょうだんち}みちのりょうがわに
きれいなさくらなみきが、あ
るのをしったんだ。いりぐちから







やく2キロ
つづいていた

びつくり!

きれいだ
き てよかった!

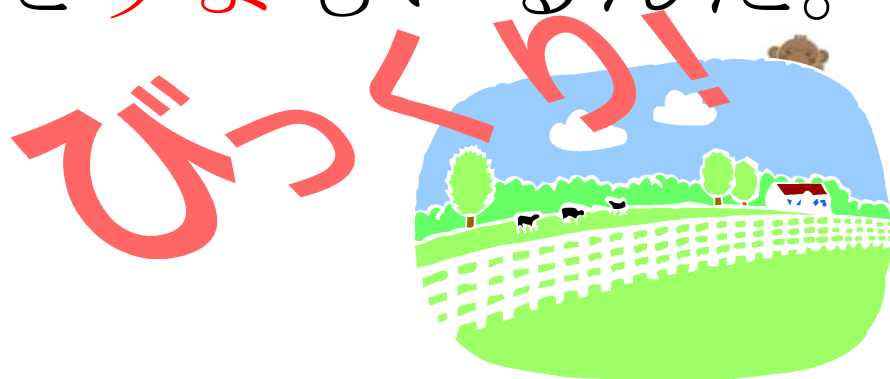


と なっちゃん。めに
なみだを うかべなが
ら、おおよろこび。

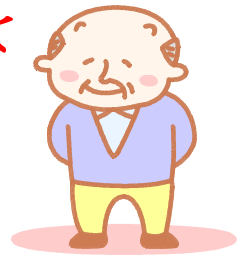
そのほかこんなものも
あるんだ。

ぼくじょうだ！ぜんこ
くからサラブレットをあ
つめ、そだてているんだ。

かつてこのぼくじょう
からダービーでゆうしょ
うしたうまもいるんだ。



かえりぎわにあき
おさんが、あつくか
たってくれた。



「なっちゃんのようなこ
どもたちに、おくばらと
いうぎょうせい^{し だ の しよう}があつ
て、むかし、信太^{きゆうとうかいどう}庄とよ
ばれ、旧東海道^{しつけんほうじよう}がちかく
をとおり、執権北条氏^しの
りようち^{ほうじよう}となつた。その
ため北条氏^しいちぞく^{かま}や鎌
倉^{くら}、さらに、京都^{きやうと}ともふ
かいつながりをもつてい
たということをしつてほ
しいんだ」

びっくり！

そうだったのか



となっちゃん、なっとく。
そして、かえることにな
った。

ああ～

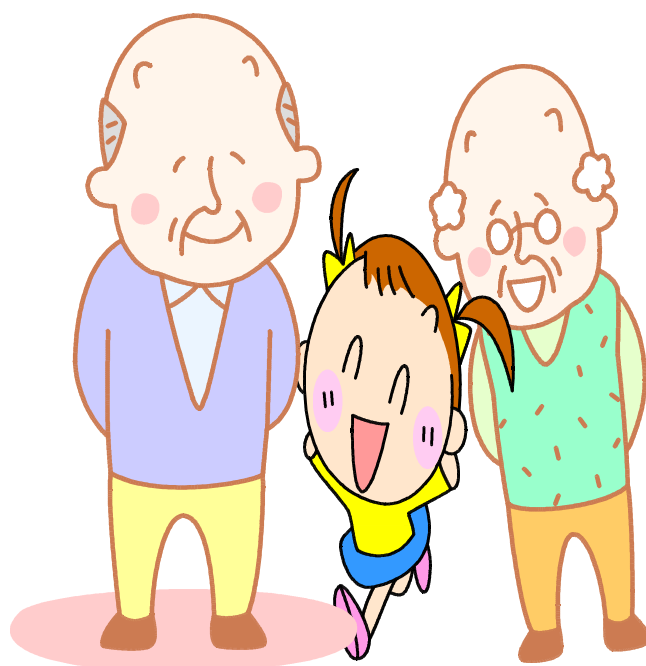
たのしかった！



と なっちゃん、おお
よろこび！

やっぱり **おくばら** ぎょ
うせいくは、おくののた
からものなんだね。

なっちゃん、あきおさ
んにおれいをいって、お
じいちゃんとかえってい
った。



こんどは、なにをしら
べようかな？

あれあれ？「すごーく、たのしかった」と なぜな
ぜくん。つぎのひみつをもとめてスキップしながら
かえっていった。

またね